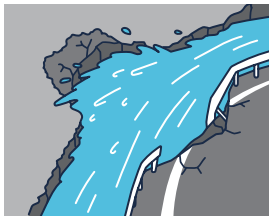
あなたなら、いつ安全な場所へ避難しますか?

過去に実際に起こった災害において、避難するタイミングを逃してしまった方の事例です。
どのタイミングで避難するべきだったでしょうか。

7月5日	18:30	大雨警報を発表(気象台)
	19:40	洪水警報を発表(気象台)
7月6日	21:30	自宅前道路の用水が満タンで、道が浸かる寸前、自家用車を少し高い所へ移動
	22:00	避難勧告(現在の避難指示)を発令(自治体)
	22:30	地域が停電
	22:40	大雨特別警報を発表(気象台)
7月7日	0:00	付近の川が決壊
	1:30	避難指示(緊急)を発令(自治体)
	4:40	水が腰の高さくらいまで来たため2階へ避難
	5:10	少し高い所に移動させた車が水没
	11:50	2階ベランダから自衛隊がボートで救助



逃げ遅れた方の意見　「大丈夫だと思い、避難しなかった」

ハザードマップや避難所の場所を知っていたけど…

自宅が浸水区域にあることを知っていたけど…

自分が住んでいる地域は今まで大きな災害がないから…

避難のタイミング

自宅前の道が浸かる前、自治体が最初の避難指示を発令したときに避難するべき、と第三者の立場だと冷静な判断ができると思います。

実際にあなた自身に同じような災害が起こった場合、同じように判断ができるように、日頃から心掛けましょう。いざという時にはすぐに安全な場所に避難し、自分の命を守る行動をしてください。

田原市でもこんなことがありました

昨年12月、田原市に津波注意報が発表されました。海岸には釣りをする人などがいたため、防災行政無線や車両から避難の呼びかけをしましたが、思うように避難をしてもらうことができませんでした。幸い大きな津波は来ませんでしたが、津波が来ていたらと思うと心配になります。

気象台や自治体からの情報は皆さんの安全を考えて出されます

「大雨警報が出ているのに、晴れている」「この前も避難指示が出たけど、何も被害はなかった」そんな声を聞くことがあります。気象警報や避難指示は、被害が起こる、避難が必要となる「可能性」がある場合に出されます。

早めに警報が出たり、避難所を開設したりするのは、皆さんに慌てず避難をしてもらうためです。「大したことなかった」で、皆さんが安心・安全に過ごすことができるといいと考えています。

みんなで「逃げ遅れゼロ!」を目指しましょう!